

☆ 視点を変えれば、世の中は変わる。

☆ Rethink=視点を変えて考える

ちょっとした問題や課題に出会ったとき、視点を変えて本質に気づくことで、前向きな行動につながります。

Rethink PROJECTは、JTがパートナーの皆さまとともに地域社会への貢献活動の総称です。

私たちは、心みだされるよりよい明日の実現に向けて、Rethinkをキーワードにこれまでにない視点や考え方を活かしながら、地域社会の様々な課題に向き合っていきます。

そしてRethinkフォーラムは、地域住民、地域企業、自治体の方々とともに地域社会の課題解決に向けてディスカッションをする場です。

みんなで地域の未来についてRethinkしてみませんか？



「Rethinkフォーラム～視点が変われば、世の中は変わる。」(埼玉新聞社主催、埼玉県など後援、Rethink PROJECT協賛)が10月22日、さいたま市浦和区のロイヤルパインズホテル浦和で開催されました。第1部は、お笑い芸人のはなわさんの「はなわ流のRethinkトーク&ミニライブ」。第2部は「Rethink埼玉～渋沢翁の教えからこれからの埼玉の発展を考える」をテーマにパネルディスカッションが行われ、はなわさんに加え、大野元裕埼玉県知事、映画監督の武内英樹さんが、テレビ埼玉アナウンサーの山崎薫子さんの進行で意見を交わしました。

ゲスト



はなわ 氏 (お笑い芸人)
演題: はなわ流のRethinkトーク&ミニライブ

1976年埼玉県春日部市生まれ。お笑い芸人のほか、声優や音楽活動などさまざまなジャンルで活躍中。映画「翔(と)んで埼玉」の主題歌「埼玉県のうた」を作詞・作曲して注目を浴びるなど、数々のヒット曲を生み出し、シンガーソングライターとしても活躍を続ける。

☆ 時代に合わせて変わる、ぶれない ☆

★ 懐の深さは埼玉の自信の表れ

一はなわさんは佐賀県出身という印象ですが、実は埼玉生まれ。出生地・埼玉への思いを聞かせてください。
実は、生まれは春日部市です。2歳で千葉の我孫子へ引っ越しまして佐賀に移ったのは小学2年の時です。
埼玉の記憶はほとんどありませんが、映画「翔(と)んで埼玉」のおかげで、埼玉が特別なものになりました。芸能界で一番、埼玉に来ている芸人じゃないかと思っています。
仕事で全国へ行きます。リクエストされるのは、たいがい映画の主題歌「埼玉県のうた」。先日行った北海道の旭川でもそうでした。それから、埼玉にゆかりのある人は、全国どこでもいらっしやる。そういう意味で、埼玉は全国に広がっていて、存在感を増していると思います。

一曲作りで大切にしていることを教えてください。
都道府県の歌から、最近では市町村の歌にまで広がっています。埼玉県の市町村数は63、市の数は日本一です。それだけ魅力が多いということになりますね。
地域のあるあるネタは、ネットで検索すれば簡単に見つかります。だからこそ、必ずご当地へ足を運びます。そうでないと、

面白い曲は作れない。続編映画の主題歌「ニュー咲きほこれ埼玉」は、後輩と一緒に県内中をドライブして情報を集めて、その中から厳選して詞を書きました。
埼玉をディスる(けなす)曲なのに、皆さんが応援してくれる。埼玉の人は懐が深いと思います。きっと、自信があるからなのでしょうね。そこがカッコイイ。

★ 常にアップデート 前向きに生きる

一はなわ家の梁道3兄弟。皆さん活躍されています。
昨年、長男が結婚。今年の夏に孫が生まれて、おじいちゃんになりました。3人ともよく食べましたね。弁当だけでご飯5合ですから、毎日1.8升炊いていました。妻には本当に感謝です。当時は佐賀で暮らしていて、玄関に米や野菜が置かれていることがあって、地域の温かさを感じました。

一子育ては、Rethinkの機会になりそうですね。
今回のテーマがRethinkですが、アップデートを常に意識しています。それぞれに性格が違いますし、時代とともに教育の仕方も変わります。例えば、梁道の指導。かつては「だめだ、だめだ」と厳しいのが当たり前でしたが、今は「いいね、いいね」とほめて伸ばす。
思えば、自分自身も変わりました。かつてはパンクロックが好きで、尖った気持ちがありましたが、人生経験を積んだ今は、

人や地域を元気にしたいという思いが強いです。
世の中の面白いという感覚は、ものすごい速さで変化していて、時代の変わり目を感じます。ただ、時代に合わせて変えたくない、ぶれないという意識も一方にあります。

一はなわさん流の「挑戦の秘訣」を教えてください。
ポジティブでありたいと思っています。常に前向きに、気持ちを切り替えられる精神力を意識しています。歳を重ねると体力が落ちるように、心にも老いがあると思います。完璧な人などいない。だからこそ、前向きに生きたいと言葉にして自分に言い聞かせ、家族にも伝えていきます。



Rethink埼玉～渋沢翁の教えからこれからの埼玉の発展を考える～

モデレーター

パネルディスカッション出演者 はなわ氏(お笑い芸人)、大野元裕氏(埼玉県知事)、武内英樹氏(映画監督)、山崎薫子氏(テレビ埼玉アナウンサー)

現代に通じる渋沢栄一翁の名言

山崎 埼玉の観光資源をどう活用し、外国人観光客を取り込んでいくのか。また、地域の特性を誘客にどう生かすのか。新1万円札の顔になった渋沢栄一翁の教えから、Rethinkしていきます。まずは、渋沢翁が残した、皆さんが好き言葉や、エピソードを伺います。
大野 近代日本経済の父、渋沢翁は道徳経済合一説を提唱されました。経済においても、孔子が説いた思いやり心「忠恕の精神」を重視すべきという考え方で、現在のSDGsにも通じる。埼玉県も誰一人も取り残さない社会を目指しているからこそ、その意義がよく分かります。埼玉県民としてしっかり受け継ぎたいと思います。
武内 映画「翔(と)んで埼玉」の第2弾「琵琶湖より愛を込めて」が公開されたタイミングで、新1万円札の発行が話題になってラッキーだったなと思っています。作品は、日本中が渋沢栄一を欲しているという設定で、京本政樹さんが演じる埼玉デュークがお札の透かしになっています。
はなわ たくさんあって迷いますが、一つは「思い通りにならないのが普通」。こう思っているのは、苦情やくだらない心配がなくなるという名言で、響きます。それから「無欲は怠慢の基である」。欲は夢を持つための原動力という教えです。渋沢翁の言葉を歌詞にしたら、今の若者の心に響くと思いますね。

ディスられてもほっこりする

山崎 注目を浴びる渋沢翁を地域活性化につなげる埼玉県の施策についてご紹介します。
大野 来年夏に「渋沢栄一起業家サロン(仮称)」を開設する予定

です。これは、オープンイノベーションの創出・支援、スタートアップの創出・成長支援、イノベーション人材の育成が柱で、金融機関や投資家なども参加します。

それから、渋沢栄一賞。これは、渋沢翁の精神を受け継ぐような企業活動と社会貢献を行っている、地域に根ざした企業の経営者を表彰するもので、日本を代表する経営者を含めて、これまでに57人が受賞されています。今年度は来年1月に発表する予定です。
山崎 映画を通して県内の盛り上がりを感じていますか。
武内 前作の興行収入の都道府県別シェアは、埼玉県が1/4を占めていました。多くの映画館でウケているのに、埼玉県内一冷めていたのが浦和。一方、盛り上がったのは池袋です。埼玉県民が他人事のように笑っているんだと思って、すごく面白かったですね。
はなわ 「ニュー咲きほこれ埼玉」は第2段のエンディング曲にも採用されました。ミュージックビデオの撮影には60市町村から参加していただいて、皆さんの笑顔が本当に素晴らしいです。
武内 感動しましたね。子どもたちが生き生きして、埼玉愛が伝わってきた。エンドロールに採用して良かったと思っています。
はなわ 埼玉県の企画で、知事にも踊っていただきました。
大野 埼玉県民としてほっこりする曲で、踊りながら感動しました。

「翔んで埼玉空港」計画とアニメの聖地

山崎 埼玉県の観光の魅力向上をさらに加速する施策について、大野知事にお聞きします。
大野 埼玉県内には渋沢翁にゆかりのある魅力的な観光地がたくさんあります。それらをまとめて周遊していただくとう広報に努めています。また、新1万円札発行にちなんで、埼玉のいちおし

「一万」をキーワードにした商品や、渋沢翁に関連する観光・物産商品の情報を発信しています。ぜひ、お気に入りを見つけてください。
山崎 外国人観光客に対してはいかがでしょうか。
大野 埼玉を目的地に訪日する人は少ないですが、東京のすぐ近くにある埼玉へ足を伸ばしてもらい、魅力を体験していただくことはできます。埼玉には小江戸や嵐山があり、アニメの聖地、巨大な建造物、日本一おいしい果物などがありますから。
武内 映画になぞらえ、埼玉と群馬の県境に「翔んで埼玉空港」の計画があるそうですね。そもそも埼玉は交通の要衝ですから、北海道、東北、上越、北陸方面へ便がいい。すぐ夢がありますよ。
はなわ 埼玉県には何でも揃っていると思います。それが余裕につながっていて、懐深く笑っていたらいいなと思います。僕らの世代には、埼玉はアニメの聖地という印象が強いですね。今や世界中にファンがいますから、大事にしてほしい魅力の一つです。

埼玉の魅力 何にもないけど何でもある

山崎 埼玉が目指す将来像について、Rethinkの観点からご意見を伺います。大野知事、お願いします。
大野 渋沢翁は、それまでの常識を変えた人、時代を転換した人です。今、日本は大きな転換期にあります。超少子高齢化と、多発する自然災害や感染爆発などへの対応です。これらの課題に対して、私たちは渋沢翁の教えに従い、DXやSDGsの考え方で解決しなければなりません。待たなしの状況だと思っています。
山崎 こうした課題を乗り越えて明るい未来にするために、期待するのはどんなことでしょうか。
武内 映画製作のために埼玉のあちこちへ足を運びました。「何に



もないけど、何でもある」。よく耳にした声には、埼玉の住み心地の良さがよく表れていると思います。
はなわ これまでの話を聞いて、渋沢翁をもっと知りたくなりました。武内監督に渋沢栄一物語を撮ってほしいくらいです。そして、ますます埼玉愛が深まりまして、「世界埼玉化計画」実現のために微力ながら頑張っていきます。皆さんも一緒に頑張りましょう。

主催/埼玉新聞社 後援/埼玉県、さいたま市、さいたま商工会議所、テレビ埼玉、FM NACK5 協賛/Rethink PROJECT